

【狭帯域：占有周波数帯幅が3kHz以下 (A3Eを除く)、  
広帯域：占有周波数帯幅3kHzを超える】

令和5年9月25日施行

## 135kHz帯 周波数:kHz

135.7	137.8
狭帯域の全電波型式 (注1)	

(注1) 占有周波数帯幅は500Hz以下のものに限る

## 475kHz帯 周波数:kHz

472	479
狭帯域の全電波型式 (注1)	

(注1) 占有周波数帯幅は500Hz以下のものに限る

## 1.9MHz帯 周波数:kHz

1,800	1,830	1,845	1,875	1,907.5	1,912.5
CW	CW・狭帯域データ	狭帯域の全電波型式 (注1)	狭帯域の全電波型式 (注2)		

(注1) SSBやAMによる電話での運用可  
(注2) 占有周波数帯幅は500Hz以下のものに限る (SSBやAMによる電話での運用不可)

## 3.5MHz帯 周波数:kHz

3,500	3,530	3,580	3,599	3,612	3,662	3,687
CW	狭帯域の全電波型式	狭帯域の全電波型式	狭帯域の全電波型式	3,535kHz非常通信周波数		

## 3.8MHz帯 周波数:kHz

3,702	3,716	3,745	3,770	3,791	3,805
狭帯域の全電波型式	狭帯域の全電波型式	狭帯域の全電波型式	7,050kHz非常通信周波数		

## 7MHz帯 周波数:kHz

7,000	7,030	7,200
CW	狭帯域の全電波型式	

## 10MHz帯

### 周波数:kHz

10,100	10,120	10,150
CW	狭帯域の全電波型式 (注1)	

(注1) この区分では占有周波数帯幅が2kHz以下のものに限る (SSBやAMによる運用不可)

## 14MHz帯 周波数:kHz

14,000	14,070	14,100	14,350
CW	CW・狭帯域データ	狭帯域の全電波型式	
14,100kHzビーコン (注1)		14,300kHz非常通信周波数	

(注1) 14,100kHzの周波数は、JARLが国際的な標識信号 (ビーコン) の送信をする場合に限る。

## 18MHz帯 周波数:kHz

18,068	18,080	18,110	18,168
CW	CW・狭帯域データ	狭帯域の全電波型式	
18,110kHzビーコン (注1)		18,160kHz非常通信周波数	

(注1) 18,110kHzの周波数は、JARLが国際的な標識信号 (ビーコン) の送信をする場合に限る。

## 21MHz帯 周波数:kHz

21,000	21,070	21,150	21,450
CW	CW・狭帯域データ	狭帯域の全電波型式	
21,150kHzビーコン (注1)		21,360kHz非常通信周波数	

(注1) 21,150kHzの周波数は、JARLが国際的な標識信号 (ビーコン) の送信をする場合に限る。

## 24MHz帯 周波数:kHz

24,890	24,900	24,930	24,990
CW	CW・狭帯域データ	狭帯域の全電波型式	
24,930kHzビーコン (注1)			

(注1) 24,930kHzの周波数は、JARLが国際的な標識信号 (ビーコン) の送信をする場合に限る。

## 28MHz帯 周波数:MHz

28.00	28.07	28.20	29.00	29.3	29.51	29.59	29.61	29.70
CW	CW・狭帯域データ	狭帯域の全電波型式	全電波型式	衛星	レピータ	全電波型式		
28.20MHzビーコン (注1)・非常通信周波数								

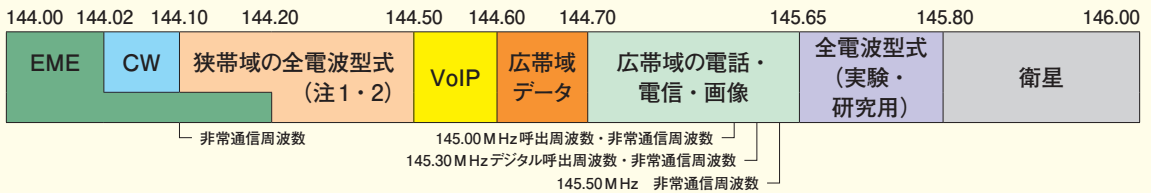
(注1) 28.20MHzの周波数は、JARLが国際的な標識信号 (ビーコン) の送信をする場合に限る。

## 50MHz帯 周波数:MHz

50.00	50.07	51.00	52.90	54.00
CW	狭帯域の全電波型式	全電波型式	全電波型式 (実験・研究用)	
EME (注1)	50.30MHz	51.50MHz非常通信周波数		
50.01MHzビーコン (注2)	50.10MHz非常通信周波数	呼出周波数・非常通信周波数	51.30MHzデジタル呼出周波数・非常通信周波数	

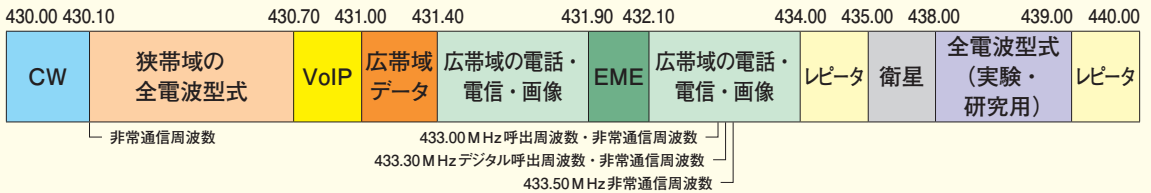
(注1) 50.00MHzから50.07MHzまでの周波数で月面反射通信を行う場合に限り占有周波数帯幅が3kHz以下を使用することができる。  
(注2) 50.01MHzの周波数は、JARLが国際的な標識信号 (ビーコン) の送信をする場合に限る。

### 144MHz帯 周波数:MHz

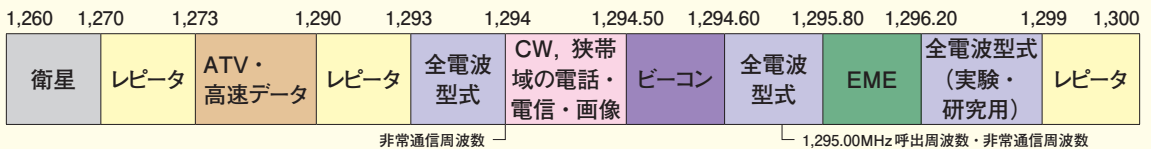


(注1) 144.00MHzから144.20MHzまでの周波数を使用して月面反射通信を行う場合、狭帯域の全電波型式を使用することができる。  
 (注2) 144.30MHzから144.50MHzまでの周波数は、国際宇宙ステーションとの交信に限って広帯域の電話、電信および画像通信に使用することができる。

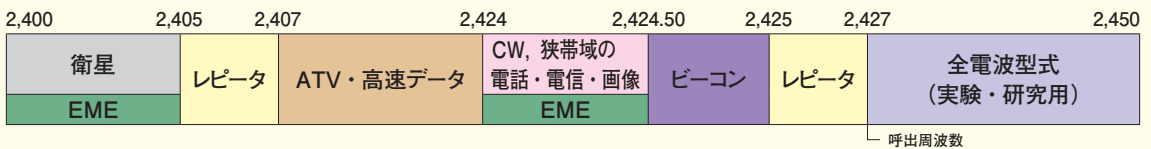
### 430MHz帯 周波数:MHz



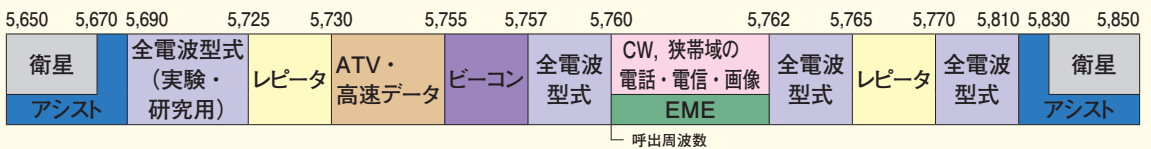
### 1200MHz帯 周波数:MHz



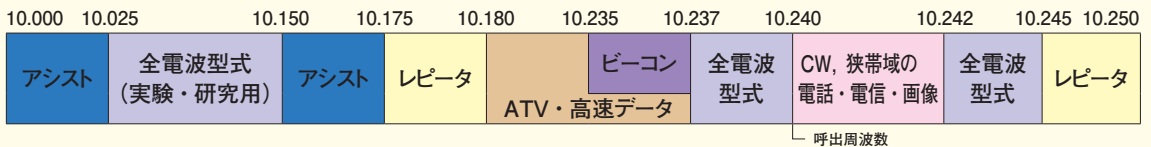
### 2400MHz帯 周波数:MHz



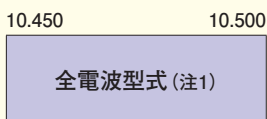
### 5600MHz帯 周波数:MHz



### 10.1GHz帯 周波数:GHz



### 10.4GHz帯 周波数:GHz



(注1) この周波数帯幅では、衛星通信及び月面反射通信に使用することができる。

※ JARL アマチュアバンドプランは諸外国の運用や世界的な慣習等をふまえて総務省の使用区別告示とは異なる表記をしている場合があります。